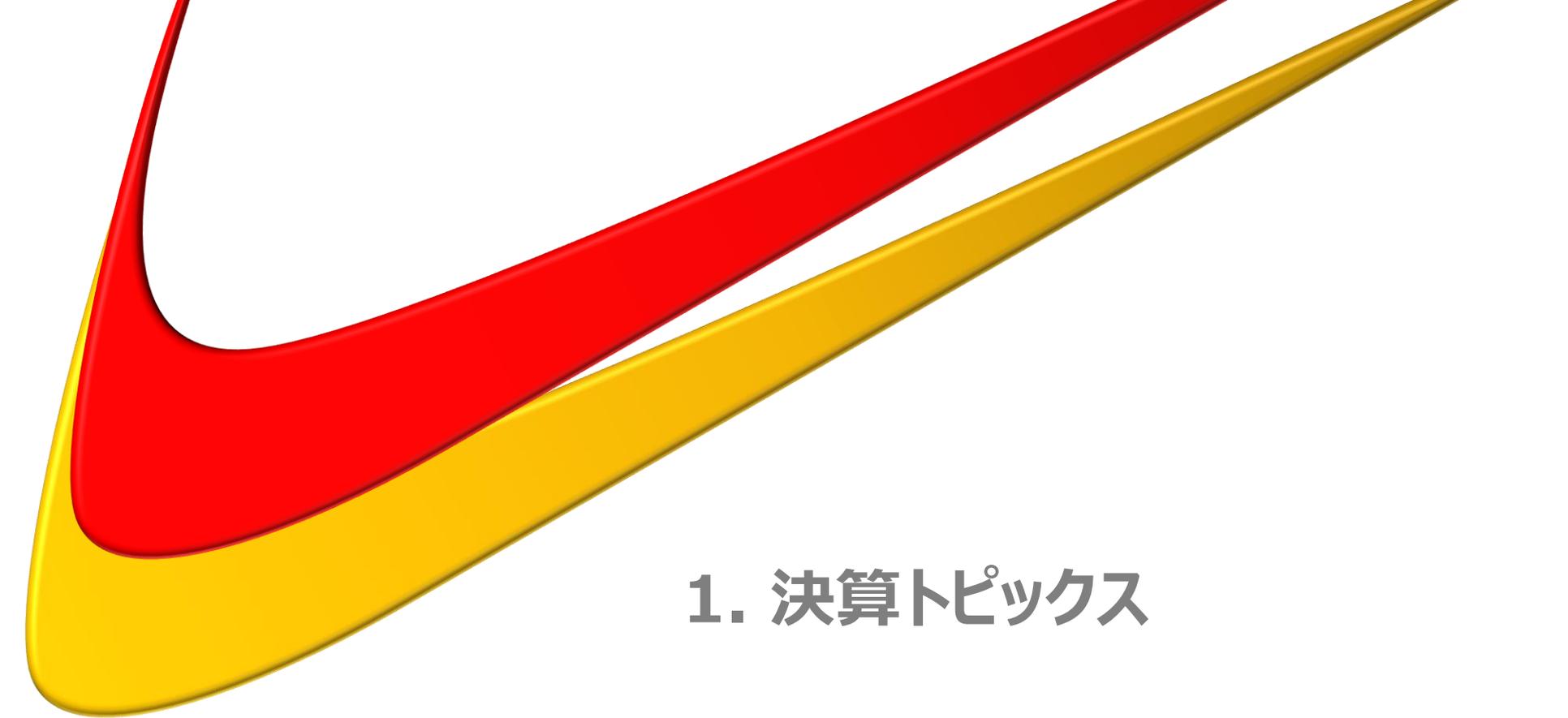
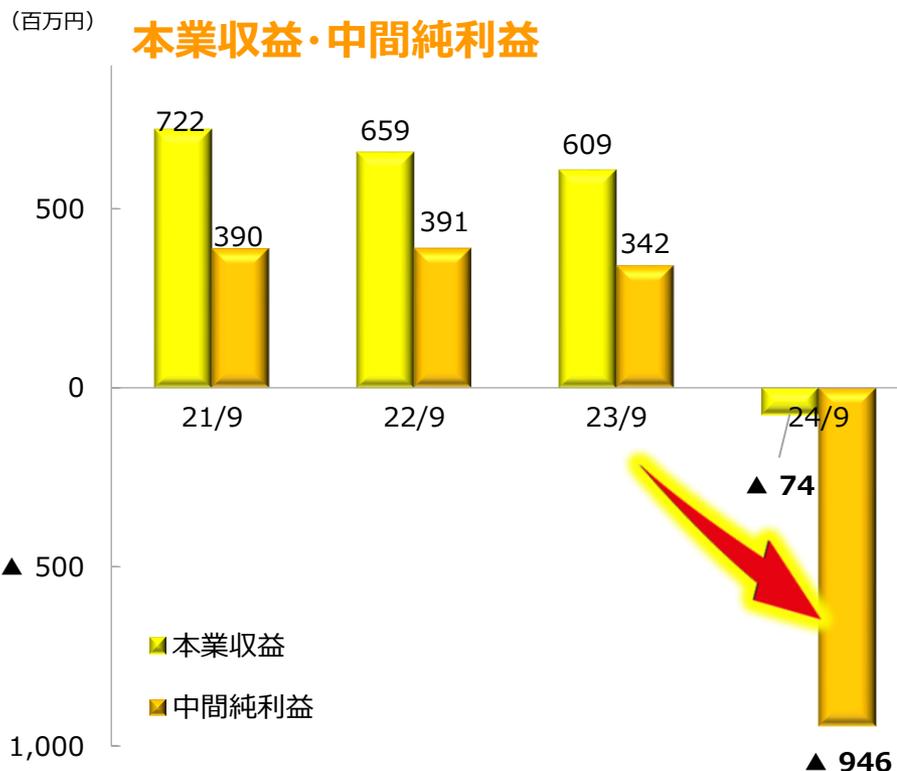


2024年度第2四半期 (2024年9月期) 決算の概要

1. 決算トピックス	・ ・ ・ ・ ・	2
2. 決算の概要	・ ・ ・ ・ ・	8
3. DXの推進	・ ・ ・ ・ ・	15
4. ふくぎん地域元気プロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	24
当行のプロフィール	・ ・ ・ ・ ・	28



1. 決算トピックス



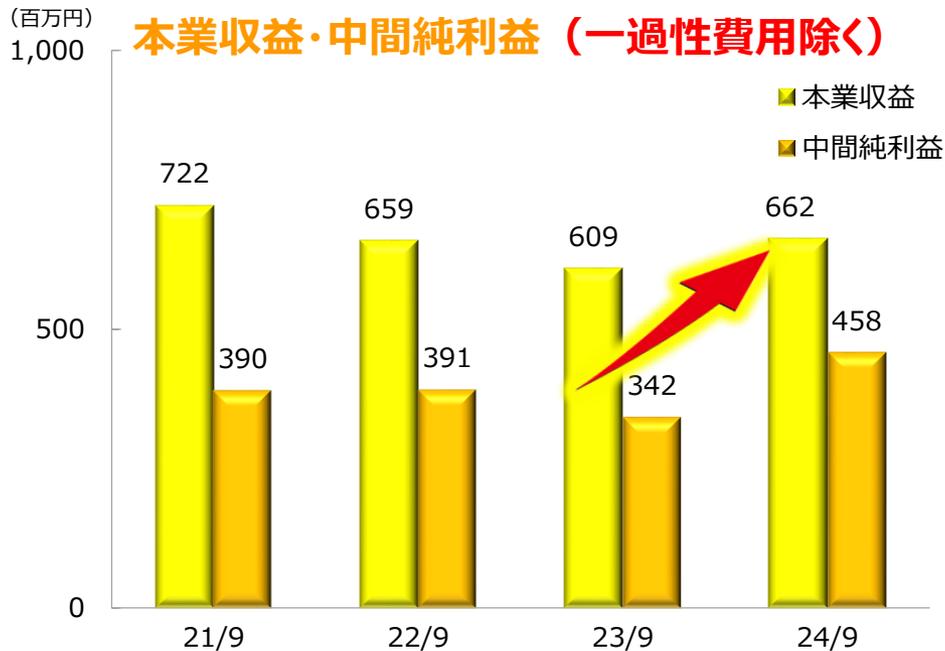
2024年9月期はシステム更改に伴う前向きな一過性の費用を14億円程度計上し減益

- ・ 2024年7月16日新システム稼働！システム更改に伴い物件費を中心に一過性の前向き費用を計上
- ・ 今後は中期経営計画を確実に実施し、デジタルによる業務の効率化とリアルでのコンサルティング業務強化により、収益の積み上げを図っていく

● 一過性費用

	金額	内容
システム関連費用等	14億円	システム更改に伴い、システム関連費用等を計上 ○ システム関連費用等 ・ 新システムへの移行に伴う費用 ・ 旧システム端末などの処分損など

1.決算トピックス (実質的な本業収益・中間純利益<<一過性の費用除く>>)

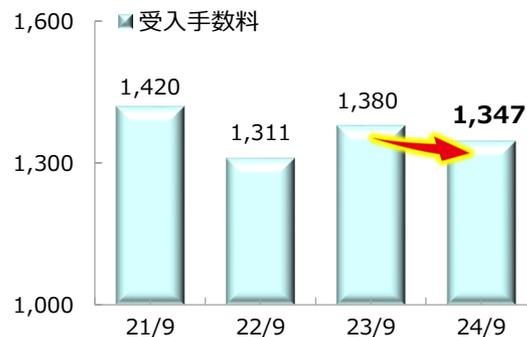


仮に一過性の費用を除いた場合
実質的な本業収益・中間純利益
ともに増益！

- ・ 新システム更改などに伴う、一過性の費用を除いた場合には増益
- ・ 2025年度以降は黒字化を見込む



- ・ 消費性貸出残高の増加と金利上昇により、貸出金利息が増加



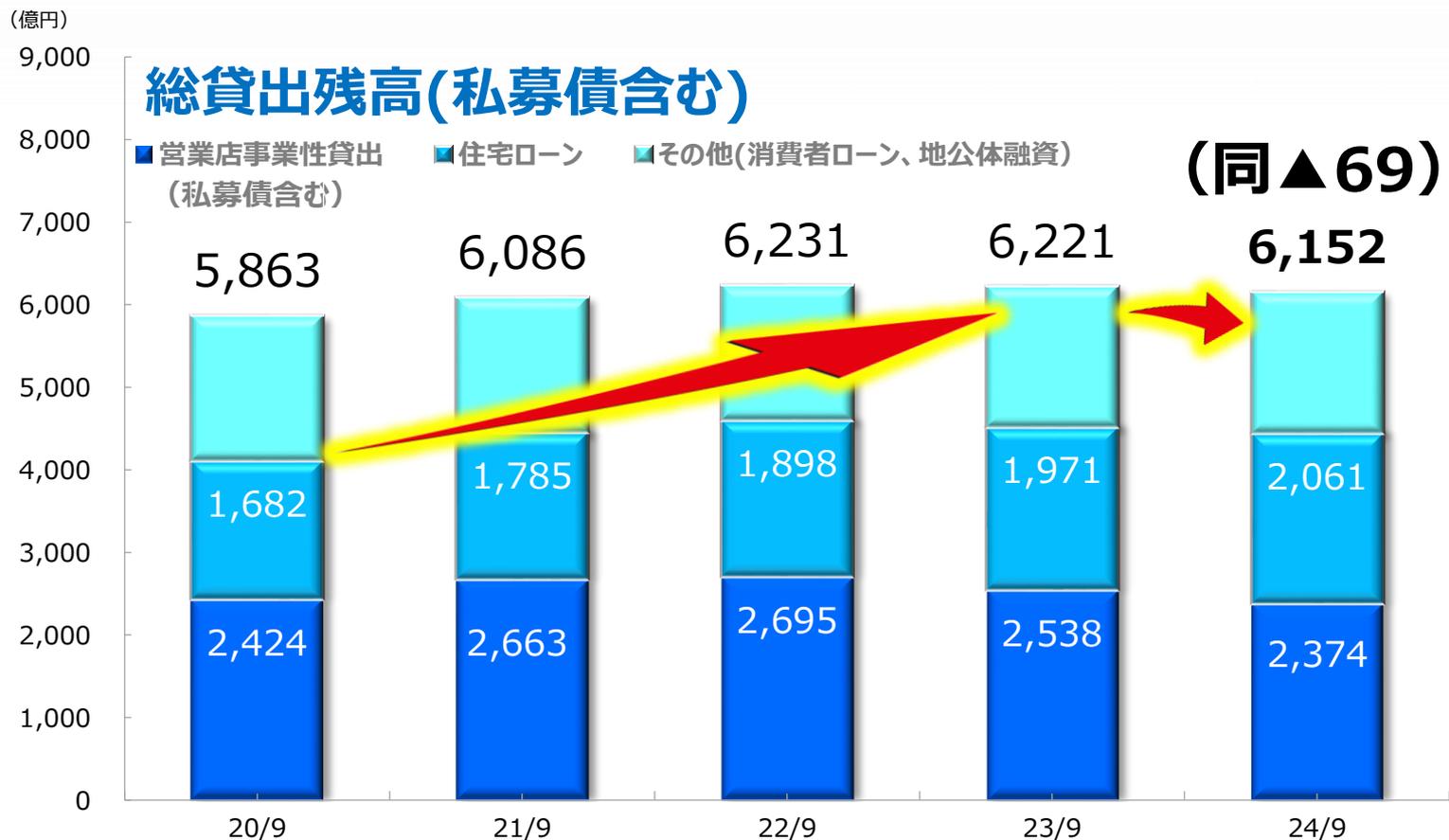
- ・ 社債引受手数料や保証料、融資関連手数料などが減少したことにより受入手数料は減少



- ・ 一過性の要因を除いた場合、営業経費は減少

総貸出残高(私募債含む)は、6,152億円(前年同期比▲69億円減少)

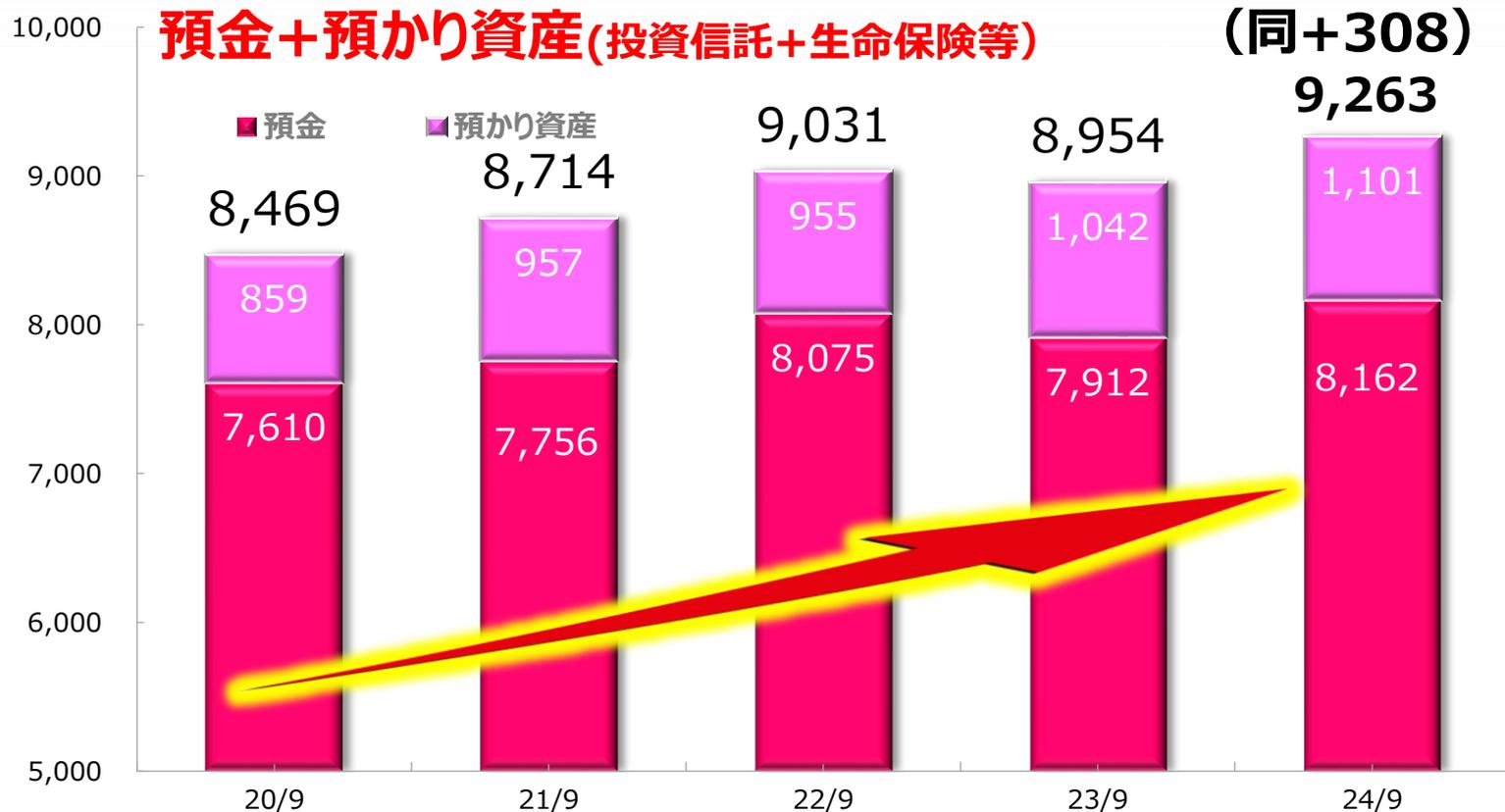
- ・ 営業店事業性貸出残高(私募債含む)は、2,374億円と、コロナ関連融資の返済などが進み同▲163億円減少
- ・ 住宅ローンはソリューションプラザ・ローンプラザを中心に推進し、過去最高の2,061億円と同+89億円増加



総預かり資産(預金+預かり資産)の残高は、9,263億円(同+308億円増加)

- ・ 総預金は8,162億円と、地公体預金を中心に同+249億円の増加
- ・ 預かり資産は投資信託の販売が好調に推移し、1,101億円と同+58億円の増加

(億円)



1.決算トピックス (SBIグループからの増資による自己資本の増強)

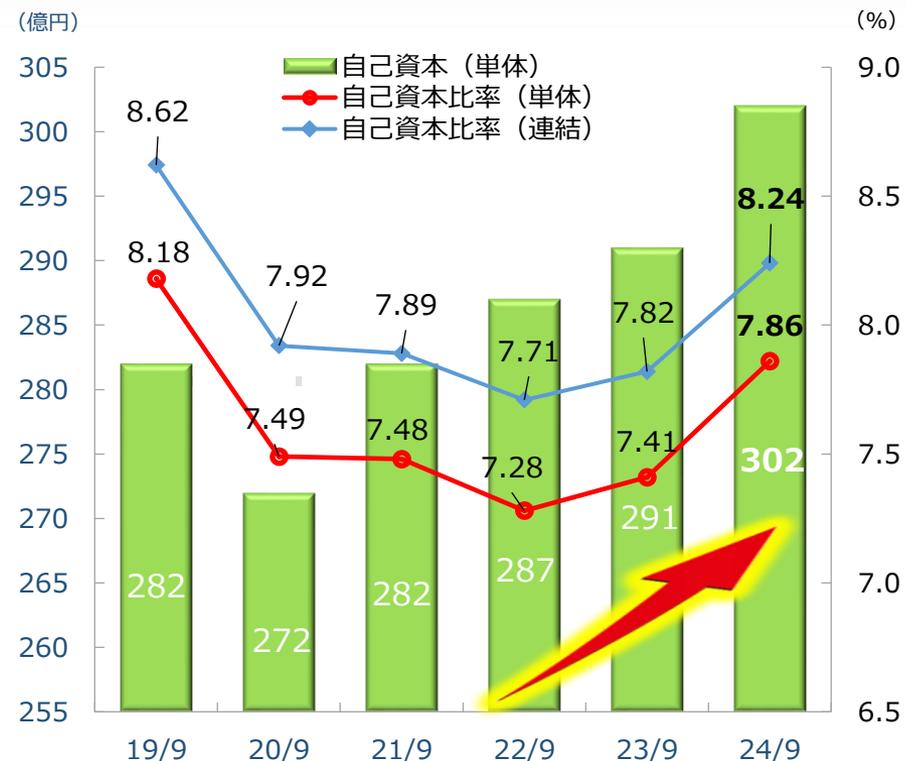
SBIグループからの増資が完了し、自己資本比率は上昇、連結では8%超え

- ・ 9月6日（金）にSBI地銀ホールディングス株を引受先とする第三者割当増資が完了し、自己資本を増強
- ・ 充実した自己資本により、地元企業を中心に積極的に金融仲介機能を発揮し、企業価値の向上を図る

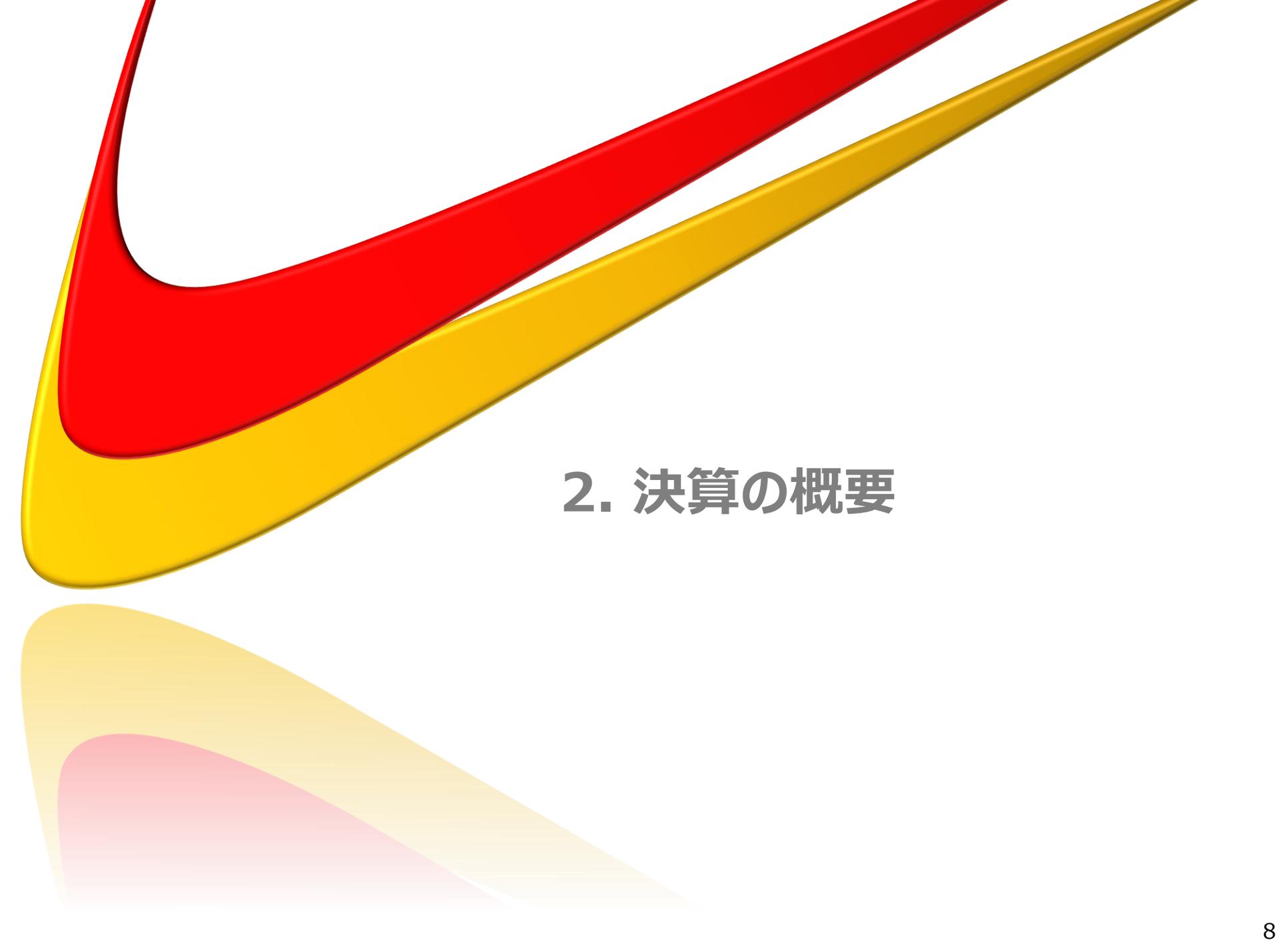
< 第三者割当増資の概要 >

(1) 払込日	2024年9月6日
(2) 発行新株式数	普通株式 6,900,000 株
(3) 発行価額	1株につき277円
(4) 払込金額の額	1,911,300,000 円

< 自己資本比率の推移 >



○ 9月期としては、2019年9月期以来5年ぶりに連結にて8%台を回復



2. 決算の概要

2.決算の概要 (2024年9月期の実績)

単 体

	(百万円)		
	24/9	23/9	前年同期比
1 経常収益 (①+⑦)	5,306	5,323	▲17
2 業務収益①	5,211	5,136	74
3 貸出金利息	3,448	3,403	45
4 有価証券利息配当金⑦	343	287	55
5 (A)投信解約益	0	-	0
6 受入手数料	1,347	1,380	▲33
7 国債等債券売却益②①	-	-	-
8 業務費用③	5,249	4,396	853
9 預金利息 (譲渡性預金利息含む)	136	43	93
10 一般貸倒引当金繰入④	▲120	▲153	33
11 国債等債券売却損・償還損・償却⑤②	84	22	62
12 営業経費	4,483	3,843	639
13 人件費	1,783	1,792	▲8
14 物件費	2,364	1,786	578
15 業務純益⑥ (①-③ (金銭の信託見合費用除く))	▲38	740	▲778
16 (B)コア業務純益 {⑥- (②-⑤) +④}	▲74	609	▲683
17 本業収益 (投信解約損益除くコア業務純益) (B)-(A)	▲74	609	▲684
18 臨時収益⑦	95	186	▲91
19 株式等売却益①	-	51	▲51
20 償却債権取立益	17	32	▲15
21 臨時費用⑧	709	341	367
22 個別引当金繰入額	253	284	▲31
23 株式等売却損・償却①	0	2	▲2
24 臨時損益⑨ (⑦-⑧)	▲614	▲154	▲459
25 経常利益 (⑥+⑨)	▲652	585	▲1,238
26 特別損益	▲298	▲2	▲295
27 法人税、住民税及び事業税	▲4	239	▲244
28 中間純利益	▲946	342	▲1,289
29 不良債権処理費用	207	131	75
30 有価証券関係損益 (⑦+①-②+③-④)	258	313	▲55

24年9月期 損益状況

**24年9月期は減収減益
システム更改に伴う前向きな一過性の費用を
計上し、赤字決算となりました**

- **業務収益は5,211百万円。前年同期比+74百万円の増収**
 - ・ 貸出金利息は、貸出金平残が1,377百万円増加し、貸出金利回りが同0.013%上昇したことから、同+45百万円
 - ・ 有価証券利息配当金は平残が▲1,397百万円減少したものの、利回りが同0.070%上昇したことから同+55百万円
 - ・ 受入手数料は、私募債取扱いの減少に伴う社債引受手数料や保証料の減少、融資関連手数料の減少などにより同▲33百万円
- **業務費用は5,249百万円と、同+853百万円の増加**
 - ・ 預金利息は、平残が同+28,032百万円増加し、預金利回りが同0.023%上昇したことから同+93百万円
 - ・ 営業経費のうち物件費は、システム関連費用の増加により同+578百万円増加
- **臨時損益は同▲459百万円となり経常利益は同▲1,238百万円**
- **貸出金利息や有価証券利息配当金などが増加し、業務収益は増収したものの、株式等売却益の減少などにより経常収益は減収となった。また、システム更改に伴い前向きな一過性の費用14億円を計上し、中間純利益は▲946百万円 (同▲1,289百万円) と減益となった**

2.決算の概要 (貸出<私募債含む>)

- 貸出残高 (私募債含む) は、6,152億円。前年同期比▲69億円の減少
 - ・ 事業性貸出 (私募債含む) は、新型コロナウイルス対策資金の返済が進み▲143億円の減少
 - ・ 消費性貸出については、住宅ローン実行の増加により、同+76億円の増加
 - ・ 事業性融資先数は5,556先で推移
- 貸出平均約定金利は、営業店事業性貸出金利の上昇に伴い1.22%と同+0.03%上昇

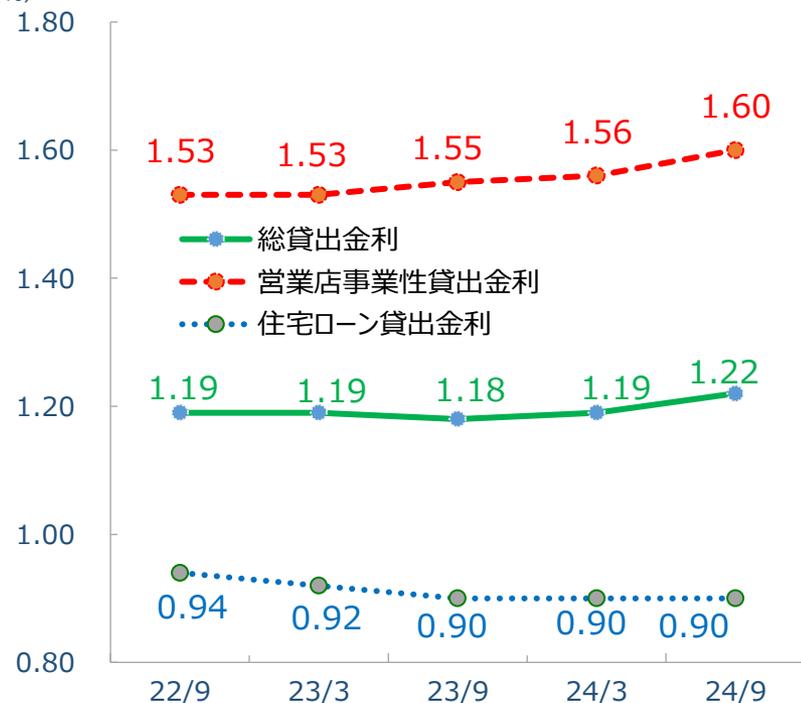
貸出 残高推移

(億円)

	21/9	22/9	23/9	24/9	前年同期比
事業性	3,064	3,103	2,958	2,815	▲143
営業店	2,280	2,264	2,135	2,038	▲96
私募債	383	430	402	335	▲66
本部	400	407	420	440	19
消費性	2,059	2,168	2,242	2,319	76
住宅ローン	1,785	1,898	1,971	2,061	89
消費者ローン	220	221	225	214	▲11
消費性その他	53	48	45	43	▲2
地公体	832	837	938	958	20
その他	129	122	81	60	▲21
合計	6,086	6,231	6,221	6,152	▲69
平 残	5,982	6,115	6,218	6,156	▲62
事業性融資先数	5,600	5,560	5,377	5,556	179

貸出平均約定金利

(%)



2.決算の概要 (預金<NCD含む>・預かり資産)

- 預金と預かり資産を合わせた総預かり資産残高は、前年同期比+308億円増加し、9,263億円
・うち預金残高は、+249億円増加し、8,162億円。預かり資産残高は、+58億円増加し、1,101億円
- 預かり資産の販売額は、好調な相場環境により投信販売は同+47億円増加、保険は同▲25億円の減少
- 預かり資産の販売手数料は、預かり資産の販売額の増加により同+1.2億円増加し、6.5億円

預金+預かり資産の残高推移

(億円)

	21/9	22/9	23/9	24/9	前年同期比
預 金	7,756	8,075	7,912	8,162	249
個人	5,042	5,048	4,947	4,914	▲32
法人	2,224	2,317	2,082	2,078	▲3
地公体他	488	709	883	1,169	286
預かり資産	957	955	1,042	1,101	58
投 信	388	397	412	450	37
保 険	544	535	608	628	19
公共債	24	22	20	22	1
合 計	8,714	9,031	8,954	9,263	308

預かり資産 販売額推移

(億円)

	22/上期	22/下期	23/上期	23/下期	24/上期	前年同期比
投 信	74	62	68	97	115	47
保 険	41	50	85	72	59	▲25
公共債	1	1	1	3	3	1
合 計	117	113	155	172	179	23

預かり資産 販売手数料推移

(※SBIマネープラザ手数料を含む)

(億円)

	22/上期	22/下期	23/上期	23/下期	24/上期	前年同期比
合 計	4.4	4.5	5.2	6.4	6.5	1.2

2.決算の概要 (有価証券)

- 有価証券の残高は1,547億円 (前年同期比+11億円の増加)
 - ・ 債券中心のインカム運用方針を継続
 - ・ 投資対象は信用力の高い国債や地方債等中心で元本毀損リスクは極めて低い
- 有価証券の評価損益は▲73億円 (同+4億円の良化)
 - ・ 投資信託の評価損縮小が主な要因
 - ・ SBIグループと連携し、有価証券ポートフォリオの状況や課題を共有し健全化に努める
- 債券のデュレーションは8.3年 (同0.6年の短期化)
- 有価証券利回りは0.419% (同0.07%の上昇)

有価証券 残高推移

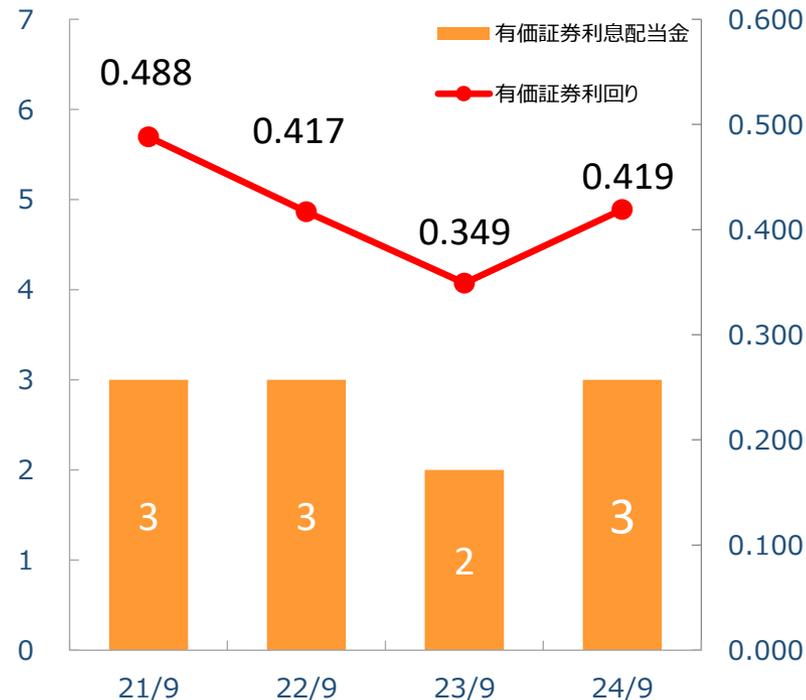
(億円)

	21/9	22/9	23/9	24/9	前年同期比
債券	774	896	869	864	▲4
国内債	751	873	857	859	2
外国債	23	22	11	4	▲6
投資信託	672	616	616	627	11
外債型	672	616	616	623	6
株式型	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	4	4
株式	21	20	18	18	▲0
その他	13	20	31	37	5
合計	1,481	1,553	1,536	1,547	11
保有有価証券の 評価損益	2	▲68	▲77	▲73	4
債券の デュレーション (年)	9.7	9.3	8.9	8.3	▲0.6

有価証券利息配当金と有価証券利回り

(億円)

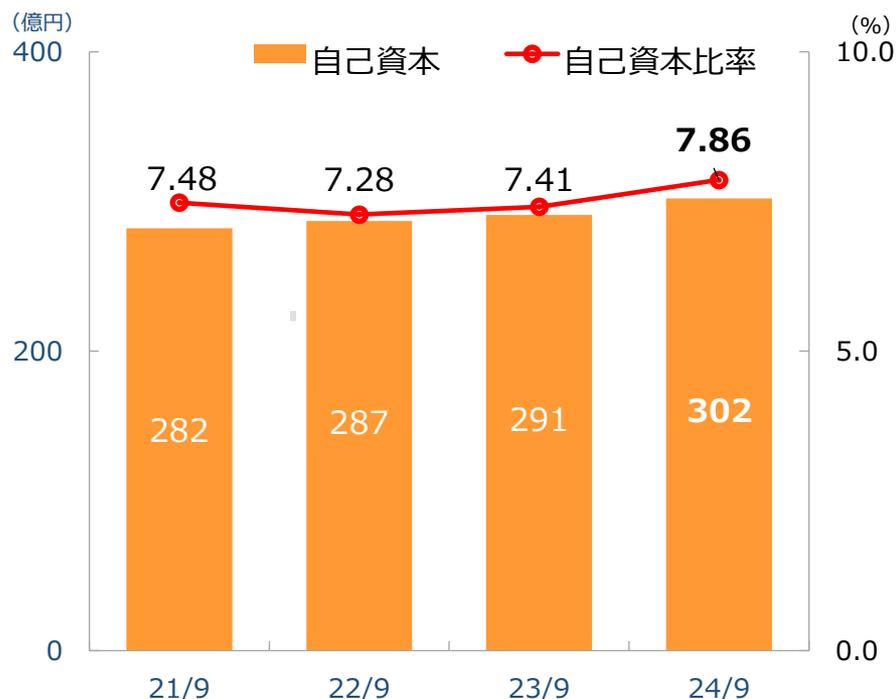
(%)



2.決算の概要 (健全性)

- 自己資本比率は、SBIグループからの増資により7.86%（前年同期比+0.45%）と上昇、国内基準（4%以上）を上回る水準を維持。連結自己資本比率は8.24%（同+0.42%）と5年ぶりに8%を超える水準となる
- 金融再生法開示債権は、115億円（同▲3億円）
金融再生法開示債権比率は、1.86%（同▲0.03%）と低水準を維持
- 与信関連費用は、2億円（同+0.7億円の増加）

自己資本比率



金融再生法開示債権比率



与信関連費用

(※) 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額
+ 貸出金償却等 - 貸倒引当金戻入額

期	21/9	22/9	23/9	24/9	前年同期比
与信関連費用 (億円)	3.1	1.8	1.3	2.0	0.7

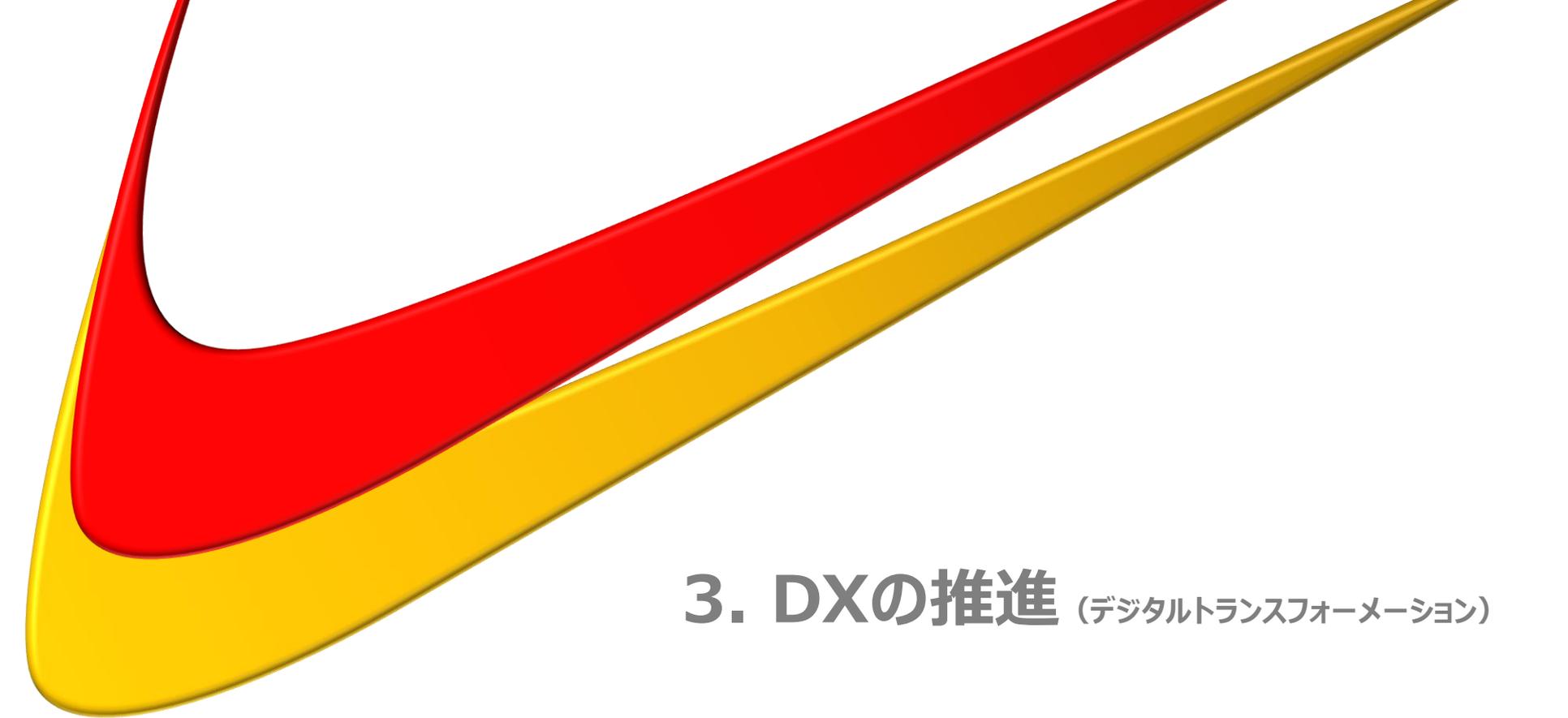
2.決算の概要 (2025年3月期の決算予想)

- 2024年度（2025年3月期）は、システム更改に伴う前向きな一過性の費用により、▲15億円程度の当期純利益を見込んでおります。
- 2024年度（2025年3月期）の配当は、1株あたり5円を予定しています。

2023年度（2024年3月期）決算予想

(億円)

		23/3月期 実績	23/9月期 実績	24/3月期 実績	24/9月期 実績	25/3月期 予想
単 体	経 常 収 益	105	53	109	53	105
	経 常 利 益	10	5	14	▲6	▲15
	当期純利益/中間純利益	7	3	11	▲9	▲15
連 結	経 常 収 益	132	66	133	66	131
	経 常 利 益	11	5	11	▲6	▲14
	親会社株主に帰属する 当期純利益/中間純利益	8	3	8	▲9	▲15



3. DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション)

次世代バンキングシステムが2024年7月16日稼働開始!

3ヶ月間安定稼働を継続!



AWSのパブリッククラウドを日本の銀行で初めて採用!

● AWSオフィス合同取材



AWS (アマゾンウェブサービスジャパン) の目黒オフィスにおいてSBI・フューチャーアーキテクト・AWSと合同取材を受けました

● 日経FinTechへの掲載



日経FinTech 2024年9月号 No.102



日経FinTech 2024年10月号 No.103



日経FinTechの9月号と10月号に掲載されました!

2024年7月16日「ふくぎんアプリ」リニューアル！ UI・UXが大幅に向上し、お客さま利便性が向上！



特徴①

生体認証(顔・指紋)を
採用し、簡単ログイン！
セキュリティーもUP！

特徴②

トップ画面で口座残高が
すぐにわかる！

特徴③

振込手続きが簡単！
福島銀行内の取引は
無料！

※ UI (ユーザーインターフェース) : 製品やサービスを利用する際おける接点。アプリでは視認性や操作性を指します

UX (ユーザーエクスペリエンス) : 製品やサービスを利用して得られる体験

ふくぎんアプリ (特徴①生体認証)

生体認証でらくらくログイン!

- ログイン・取引時には生体認証 (顔・指紋) での承認が必要

面倒なID・パスワードの入力は**不要**

セキュリティは大幅に**向上**



スマホ上の「ふくぎんアプリ」アイコンをタップ



生体認証ですぐにログイン!

ふくぎんアプリ (特徴②トップ画面)

トップ画面で残高確認!

簡単ログイン!



ここをフリックすれば
別口座の残高も確認できる

トップ画面ですべての
口座を管理できます

シンプルで分かりやすいUI!

「振込・振替」や
「入出金明細」などの
よく使う機能は
アイコンで一目瞭然
シームレスに取引可能

※ フリック：スマホの画面を指で触れて任意の方向に滑らせる動作

ふくぎんアプリ (特徴③ 簡単振込)

振込履歴から 5ステップで簡単振込手続き!

● 振込操作方法



① 振込アイコンを選択



② 「簡単振込」を選択



③ 「簡単振込履歴」を選択



④ 「簡単振込金額」を入力



⑤ 「生体認証」で完了

スマホATM

東北の金融機関初！「スマホATM」機能追加！ カードレスでATMの入出金が可能に！

キャッシュカードを使用せずに、コンビニATMでのお支払い・お預入れをご利用いただける「スマホATM」をふくぎんアプリに機能追加しました
【 利用できるATM：セブン銀行ATM / ローソン銀行ATM 】

● スマホATM操作方法



① スマホATMのアイコンを選択



② 取引種類を選択



③ 取引金額を入力
カメラを起動する



④ ATMで「スマートフォン」
取引を選択し、表示
されたQRコードを撮影



⑤ ATMで「暗証番号」
などを入力



⑥ ATMで現金取引完了

※ ご利用できるお客さまは当行の普通預金口座のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまで、「ふくぎんアプリ」をご利用しているお客さまです

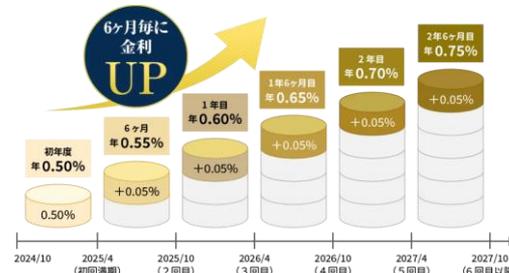
ステップアップ型円定期預金

新システムの稼働により
新商品をスピーディに提供
することが可能に！

最大年0.75%が5年間続く！アプリ専用定期預金発売！

商品の特徴

- ① 0.5%からスタート！6ヶ月ごとに金利ステップアップ



- ② 5年間ずっと0.75%の好金利



- ③ 6ヶ月ごとに利息が受け取れる
- ④ 6ヶ月満期だから短期解約でも好金利
- ⑤ 円定期預金だから安心の元本保証

— アプリのお申込限定 —

ステップアップ型円定期預金 “UP”

6ヶ月ごとと金利アップ

預入時 6ヶ月もの 税引前 **0.5%** (税引後0.398%)

最大 **0.75%** (税引前) (税引後0.597%)

5年間ずっと最大金利

取扱期間：2024年10月15日～12月30日

- ※ お申込にはアプリでの新規口座作成か、既存口座のアプリ口座連携が必要になります
- ※ 記載の金利は店頭表示金利に基づき変更することがあります

次世代型店舗

次世代型店舗第1号！ 福島西支店12月2日オープン予定！

営業店は「金融の事務手続きを行う場所」から
「お客さまに寄り添うコンサルティングスペース」へ！

● 新店舗イメージ



〈 外観 〉

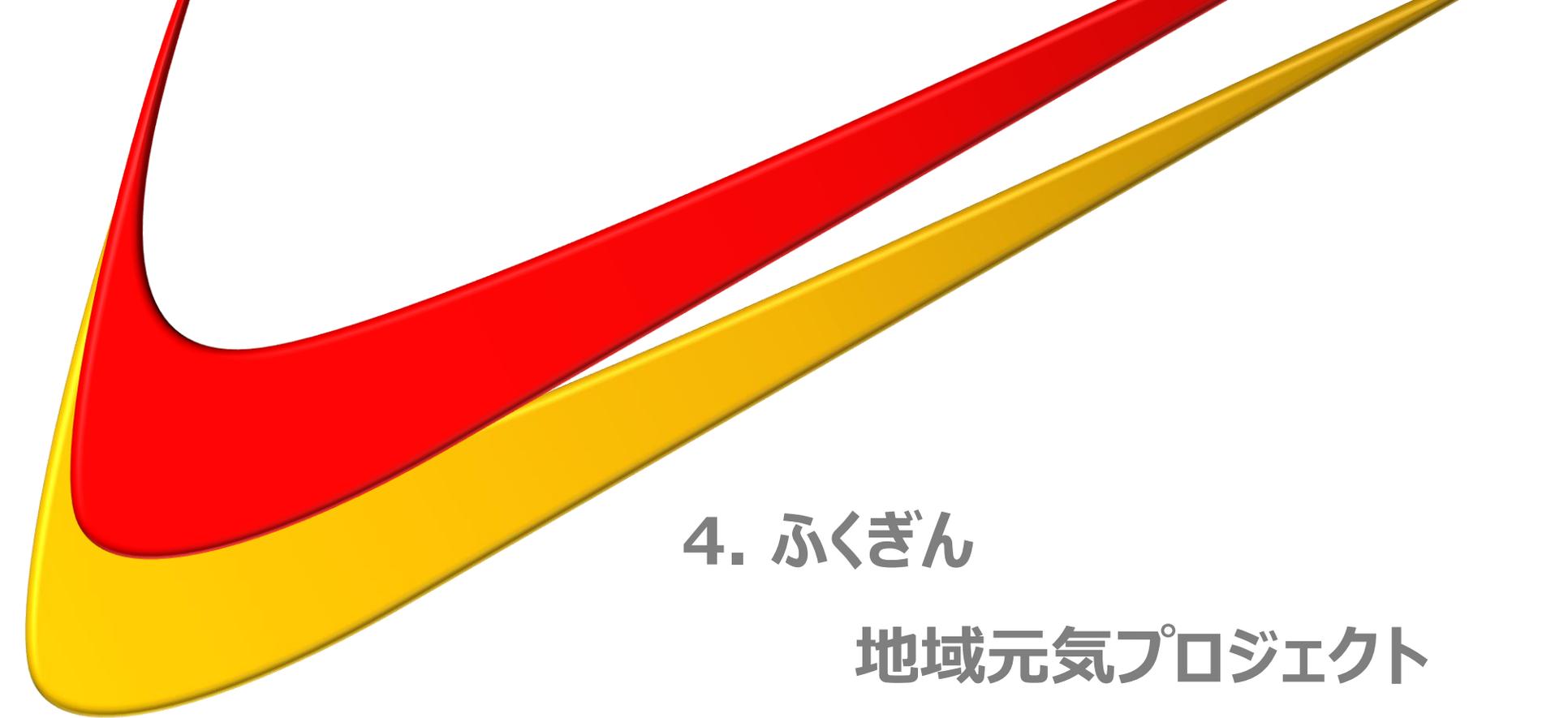


〈 内観 〉

● 地図



新店舗(2024年12月2日(月)から)
住所:〒960-8053 福島市三河南町20-9
電話:024-534-7158 FAX:024-533-0364



4. ふくぎん

地域元気プロジェクト

「ふくぎん地域元気プロジェクト」とは

「with ふくぎん『まち』を元気に」をコンセプトに若い世代と連携し地域を盛り上げる企画

● 第1弾 AXCビル ATM壁画アート除幕式



● ATMコーナー入り口



「ふくぎん地域元気プロジェクト」第1弾
AXCビル ATM壁画アート除幕式



● ATMコーナー側面



● AXCビル柱にも

「ふくぎん地域元気プロジェクト」第1弾として福島県立福島西高等学校デザイン科学科ビジュアルデザインコースとコラボレーションし、AXCビルATMコーナーの壁画アートを制作いたしました。

「ふくぎん地域元気プロジェクト」とは

「with ふくぎん『まち』を元気に」をコンセプトに若い世代と連携し地域を盛り上げる企画

● 第2弾 「2025年カレンダーフォトコンテスト」

● 最優秀賞



「清々しき湖水」

清水 南さん
(磐城桜が丘高等学校)
撮影場所：北塩原村/檜原湖

プロジェクト第2弾は、福島県内の高校生を対象としたカレンダーフォトコンテストを開催しました。なお、グランプリ作品は、当行の2025年カレンダーに採用されます。

▶ 募集テーマ

「ふくしまの元気を探せ！」

～私たちが探したふくしまの新百景・新名所～

● 優秀賞 (2作品)



「待ち侘びて」

伊藤 佳奈さん
(福島東稜高等学校)
撮影場所：二本松市/日向の人待地藏桜



「秋の窓」

照井 斗和さん
(白河高等学校)
撮影場所：白河市/南湖公園

クラウドファンディングで地域を元気に！

当行は、地域のお客さまの資金調達や対外的なプロモーション等の課題解決に取り組んでおります

● 「福島市のパン屋さんが新たな挑戦！ 新スタイル『ベーカリー&カフェ』にリニューアル！」

実行者	株式会社 グリム
目標金額	1,000,000円 (実績：1,724,000円)
募集期間	2024年1月4日～2024年2月4日

目標達成！



目標達成！



● 福島県二本松市の銘酒を使った大人向け ジェラートを開発！

実行者	有限会社丸大 大阪屋商店
目標金額	500,000円 (実績：1,148,600円)
募集期間	2024年7月19日～2024年9月15日

● 能登半島沖地震の被災地へ、元気を届けたい！ - アートで生まれるあたたかな思いの輪 - 「ふくしま⇄のと・めぐるわかプロジェクト」

実行者	福島西高校デザイン科学科応援チーム
目標金額	500,000円 (実績：653,911円)
募集期間	2024年10月3日～2024年10月31日

目標達成！



【2024年9月末現在】

本社所在地	福島県福島市万世町2番5号
電話番号	024-525-2525（代表）
設立年月日	1922（大正11）年11月27日
資本金	196億円
株主数	15,010名
従業員数	594名（うち正社員445名）
店舗数	57店舗（5出張所、2リムション°ラザ、 10-ン°ラザ、1ネット支店含む）
預金残高	8,162億円
預かり資産	1,101億円
貸出金残高	6,152億円（私募債含む）
自己資本比率	7.86%（単体）、8.24%（連結）
金融再生法 開示債権比率	1.86%
連結子会社	(株)ふくぎんリース&クレジット (株)東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

（お問い合わせ先） 株式会社福島銀行 総合企画部 寺島達也、金成洋輔 TEL：024(525)2525 FAX：024(536)5338

本資料には、将来の業績および計画等に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績に影響を与える不確実な要因によって将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項には、一定のリスクや不確実性等が含まれております。